

秘密法は廃止に！ 共謀罪も廃止に！

秘密法と共謀罪に反対する愛知の会
(旧 秘密保全法に反対する愛知の会)

極秘通信

31号 2019年4月25日発行

【Tel】 052-211-2236

【Fax】 052-211-2237

【Eメール】 no_himitsu@yahoo.co.jp

【ブログ】 http://nohimityu.exblog.jp/

【ツイッター】 https://twitter.com/himitsu_control

【facebook】

https://www.facebook.com/nohimityu



7周年総会で退任挨拶される中谷さん

2012年に「秘密保全法に反対する愛知の会」を立ち上げてから、もう7年経ちました。当時の政府が有識者会議報告書を発表したのを見て、日本が変わえられるという強い危機感を持ちました。県内の各地で学習会を開催し、参加した人たちが、自分の関係する地域や団体で学習会を開く。新しい人たちが運動に集

強権的な権力の行使と 自由を敵視する勢力との闘いを ー 共同代表退任に当たって ー

中谷雄二・相談役

に参加してきました。全国どこにも秘密保全法に反対する団体も集会もない時期の集会には、神奈川や長野、岡山から名古屋の集会に来たといつて声をかけてくれました。確かに熱気がありました。それからずっと市民運動にどっぷり浸かる日々でした。私がこの会が好きだったのは、個人の自覚に基づいて運営され、参加した人たちの発想を大事にして、創意あふれる運動を作ってきたからです。第二次安倍政権が誕生し、集団的自衛権の容認、安保法制、憲法改正と次々に戦争する国にするため立憲主義の蹂躪が続ききました。同

時に東日本大震災と福島原発事故がなかったかのようにならざるを得ない。原発再稼働は当然のように続けられました。沖縄では、県民の意思は無視され、危険と隣り合わせの米軍基地を集中的に押しつけ、辺野古新基地建設の方針は何があろうと変えようとしません。本土の機動隊を大動員して、非暴力の反対運動を押し潰そうとしています。会結成以来の反対運動にもかかわらず、日本の状況は悪化するばかりです。政権による官製ヘイトともいうべき北朝鮮、韓国バッシングとそれを批判しないメディア、易々とそれに同調する国民。現在は、会を結成したときより遥かに危険な国になっています。もはやファシズムに一步を踏み出しています。いかなる組織も新陳代謝が必要です。私は共同代表を退任しますが、強権的な

権力の行使と自由を敵視する勢力との闘いは、今こそ求められています。新たな体制で新たな発想に基づく力強い運動の提起を期待します。この国を彼らの自由にさせてはなりません。もう一度、結成時のように闘いましょう。



2017年6月16日 共謀罪法の強行採決に抗議の行動を呼びかける (名古屋・栄)



2014年6月6日講演「集団的自衛権と秘密法」

7周年総会&記念講演会を開催

2019年4月7日 於：ウィルあいち

秘密法と共謀罪に反対する愛知は結成7周年の総会とジャーナリストの金平茂紀さんをお招きして記念講演会を開催しました。220名余の方が参加され会場は熱気に包まれました。総会では、「監視社会化をもたらす秘密保護法と共謀罪法の廃止を求め、また発動させない体制づくりに取り組みとともに、明文改憲を阻止すべく諸団体、市民と広く連携する」活動方針と、役員の新体制が承認されました。



質問者に丁寧に答える金平さん

【記念講演】

「報道特集」キャスター・金平茂紀さん

「2019年は、変革の年になるのか」

報告・木村直樹

開口一番「地下鉄の駅から桜がきれいでした。ここへ来ずにこのまま花見をしようかと思っただけです。皆さんは、今メディアは何をやっているんだという怒りから、花見に行かないで、こちらに来ていただいてありがとうございます。皆さんはどういう方ですか。弁護士の方が出てくると、しんねりむつりかと思うと、笑いがでたり拍手がでたりで珍しい。愛知の方々

が元気である証拠」と会場を沸かせた。続いてテーマに触れ、「変革」は人によって定義は違うが、「希望が広がる年になると思いますか」と問いかけた。そのあと「電気紙芝居」を使って、影響を受けた人、筑紫哲也、忌野清志郎、米原万里、ジョンレノン、井上ひさし、高木仁三郎、初代キャスター（料治直矢、堀宏）、そしてNHKがまともだった時代の『ひよこりひよたん島』（井上ひさし原作）は大統領ドンガバチョと海賊トラヒゲが毎日会話する直接民主主義の話だと、『あたらしい憲法のはなし』は文科省がまともだった時代のもので、「ひよつとしたら発禁にするんじゃないか」とユーモアを交えて紹介した。特に、1991年ソ連崩壊のときのモスクワ特派

員時代、ロシア語通訳者としてエリツイン、ゴルバチョフのインタビューに協力した人生の師米原万里さんに触れた。「先に逝った人から貰ったものを継いで行く」と語った。

元号報道について「この一週間はこの仕事についていることのはずかしさ、恥辱です」と言い切った。「令和」の菅官房長官はズーツと歴史に残り、不要な安倍会見で国柄―国体が見える。主語がなくとも「元号を制定したのはぼくだよ」と分かる。君主は元号で時間を支配するが、国民は選べない。元号法制化の反対運動がかつてあった。首相は国民に仕えている奉仕者ではなく、岩田NHK記者の「安倍総理としては」は総理が乗り移ったもの。「令和」はリンクされていたのではない。テレビが思考停止、政権の宣伝係になったが、ただテレビ東京は通常番組をやった。

御用メディアが普通になり、若い記者は質問しない。組織優先で個人がない。望月衣塑子東京新聞記者へのいじめ、オールドメディアの影響力は大きく、沖繩報道がないなどの現状分析のあと、2016年は、国谷裕子、古館伊知郎、岸井成格のキャスター降板、高市総務大臣の停波発言は、かつて「ハノイ田英夫の証言」（JNNニュースコープ）で田さんが降板させられた民間放送史とともに記憶されるべきとした。政務活動費報道のチュリップテレビ（富山）や「沖繩と核」などのNHKスペシャルに元氣付けられた。最後に筑紫哲也ニュース23、多事争論の最終回（2008年



220余名の方が熱心に聞き入った

3月28日)の映像によって、筑紫さんの遺言、権力の監視、少数派を恐れず、多様な意見で自由の気風を訴えた。メディアの役割を

7周年総会の報告

林 翔太(事務局次長)

2019年4月7日、当会の7周年総会がウイルあいちで開催された。記念講演として「報道特集」(TBS)でキャスターを務める金平茂紀氏による講演会も開催され、220名以上が参加する非常に充実した会となった。本稿では、総会について報告する。

総会において、濱嶋弁護士により、議案説明(活動報告・会計報告)が行われた。まず、活動報告として、内田博文九州大学名誉教授による昨年の記念講演をはじめ、毎月の街頭宣伝、学習会の開催、極秘通信の発行などが紹介された。特に、近時は、関西地区生コン支部の労働組合に対する弾圧

事件に対する団体声明、署名ほか支援活動が報告された。

次に活動方針が説明された。会員の拡充をはじめ、街頭宣伝・極秘通信の発行などの情報発信などを挙げた。特に全国ネットワークの交流会の名古屋開催を掲げ、会の終盤には、集会宣言が採択された。会として検討すべき問題が質疑応答で挙がるなど充実したものであった。

最後に、人事の変更に伴う申合せ事項の変更点の確認、人事案が提案された。当会の発起人である中谷弁護士が惜しまれながらも退任され(今後は相談役として関わっていただく)、濱

嶋弁護士が共同代表に、中川弁護士が事務局長に、そして新・事務局次長に、私・林翔太が就任した。今後も提案された活動方針及び新役員の下、気持ち新たに、取り組みなければならぬ。

新役員体制の紹介

共同代表(留任)

本 秀紀(名古屋大学教授)

留任のご挨拶

今から7年前の2012年4月に本会が結成されて以来、共同代表を務めさせていただいていきます。正直言って、この会をこんな長く続けなければならぬとは思っていませんでした。

秘密法(2013年)から戦争法(2015年)、共謀罪(2017年)に至るまで、安倍内閣の数々の悪法と本会の歴史は重なりま

す。真実が知られ渡ると権力の危うく



なる安倍政権は、これらに加えて公文書を改竄し、統計まで操作するという禁じ手に出ました。

こうした動きに対し、私たちは、国の情報があまねく明らかにされ、それをもとに自由に意見を述べ、活発に議論することで、本当の民主主義が実現すると考えています。

先日の総会で私以外の役員が一新になったのを機に、もう一度この原点に立ち返って、民主主義の基盤を充実させるべく、運動を展開していきたいと思えます。今年度もよろしく願います。

共同代表(新任)

濱嶋将周(弁護士)

しなやかに頑張ります

中谷先生にお声掛けいただき、「秘密保全法に反対する愛知の会」の立ち上げ時からずっと、事務局長としてかかわってきました。初めて市民運動の真ん中にいることになり、貴重な経験をさせていただきました。



このたび、中谷先生が共同代表を退任されるのに伴い、私が新たに共同代

表に就くことになりました。私の中では(おそらく、みなさんの中でも)、「愛知の会」といえば中谷先生のイメージ(とりわけ、ご講演やご挨拶で、力強く運動を鼓舞する中谷先生のイメージ)ですので、私がその後任というのは、甚だ心許なく思っています。それでも、中谷先生にはより広く安倍改憲阻止の運動の中心を担っていただくべく、今回の交替をお請けすることにいたしました。

まだまだ経験も知識も不十分で、会員のみなさんにはご迷惑をおかけすることになるうと思えますが、私なりにしなやかに、本先生とともに共同代表職を務めて参ります。

秘密法と共謀罪法の廃止
〈4ページにつづく〉

をめざし、まずはこの夏の参院選での立憲野党の議席数拡大に向けた取り組みが必要で、力を合わせ、一緒に頑張っていきたいと思います。

事務局長(新任)

中川匡亮(弁護士)

就任のご挨拶

この度、事務局次長から事務局長に就任することになりました中川です。

愛知の会には、2015年頃に入会しました。愛知の会の活動を通じて、秘密保護法、共謀罪を初めとして、様々なことを学ぶことができました。これらの法律は既に成立、施行されてしまっていますが、実質的に発動させない活動がこれからは重要になってくるものと思います。



濱寫共同代表から、事務局長の立場を引き継ぐことになり、濱寫共同代表

のように、丁寧な準備、進行ができる自信はありませんが、精一杯頑張つて参りたいと思います。

林事務局次長に新たに加わって頂いたこともあり、愛知の会の活動をより活発にしていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

事務局次長(新任)

林 翔太(弁護士)

就任ごあいさつ

会員の皆様、初めまして。新しく事務局次長に就任しました弁護士林翔太と申します。所属は名古屋南部法律事務所平針事務所、事務所OBには濱寫新共同代表もいる事務所です。弁護士3年目ですが、所属したのは登録直後からで、ちょうど共謀罪が審議されていた頃でした。参加した総会でも、会の名前が変わったことも覚えております。

これまで私は、各種団体へ共謀罪や憲法改正をテーマに講師活動をしてきました。その本質は、戦争する



国づくりの阻止で、戦争は祖父の時代の、社会科の歴史の授業の話になっていきますが、勉強・執務する中で、平和が大事、戦争はダメだと思つていいます。それを訴えるためにも、声を挙げるのが何よりも大事だと思つていいます。30歳手前で頼りないかもしれませんが、濱寫・本共同代表、中川新事務局長を支えながら、そして会員さんの皆さんとともに歩んでいきたいと思っております。皆様の意見・ご指導・ご協力のほどよろしく申し上げます。

この度、事務局次長から事務局長に就任することになりました中川です。



報道自由度ランキング 日本は昨年と同じ67位

国境なき記者団が4月18日、2019年の世界報道自由度ランキングを発表した。日本は昨年と同じ67位で、「問題のある状況」「多様な報道が次第にしづらくなっている」と指摘された。

トップスリーは3年連続でノルウェー、フィンランド、スウェーデンと、北欧諸国が占めている。米国は昨年の45位から48位に順位を下げた。（「連合通信・隔日版」No.9421 2019年4月20日）

お知らせ

中谷雄二さん講演会

弾圧社会を跳ね返す！～憲法を武器に闘う～(仮)

日時:6月13日(木)18:30～ 場所:ウィルあいち 1Fセミナールーム

※ 参議院選挙後に討論型学習会「筋トレゼミ」を連続的に開催する予定です